専門研究員の気ままなコラム

まちづくりセンターでは、区民のみなさんのみどりづくり、まちづくりのお手伝いをしています。ご質問等がありましたら、ぜひお寄せください。

まちづくり　まちづくりの「づ」

いきものまちづくり？

今回は、特集に合わせたお題を頂戴することになりました。テーマは「いきものまちづくり」。いろんな生き物も棲むことのできる環境をつくりましょうということらしい。生き物とは、草や樹木、そしてそこに集まる虫や鳥、場合によっては魚や貝なども入るのだろうか？といっても私自身、虫が得意な方ではないのです。でも、いろんな生き物が棲むことができるというのは、きっと究極の安全・安心な空間なのでしょうね。

さて、先日、他区のある公園で花壇づくりなどを行っているまちづくりグループの方のお話しを伺う機会がありました。花壇でこどもたちと一緒に植物を育てはじめたら、こどもたちが秋に集まるとんぼに興味を持ち、それをきっかけにとんぼのための池をつくり、次に、今度はとんぼの種類に興味を持って、図鑑などの資料を読むことのできる場所をつくることになったそうです。こどもたちの興味はどこまでいくのでしょうか？このように次から次への興味が深まっていくのも、いきものまちづくりの奥の深さのようです。そして、なんといっても、いきものまちづくりとは、いろんな生き物だけでなく、おとなもこどももいろんな人間が一緒に活動できるまちづくりのようです。

さて、これから始まるいきものまちづくりが楽しみです。

杉崎和久
専門研究員
（まちづくり担当）

みどり　おつねん

冬を越す昆虫はたくさんいる。身近なものはテントウムシやバッタ、ミノムシ、ハエなどが真冬でもよく見られる。こうした虫たちは、春の訪れとともにいち早く活動をはじめ、ほかの虫たちのヨチヨチ歩きを横目に、恋をし、子どもをつくる。数少ないが、チョウやトンボにも冬越しをするものがいる。しかし、冬は厳しい。ホソミオツネントンボは、裸木や冬枯れの草むらに懐（ふところ）かれて過ごす。ウラギンシジミやムラサキシジミは、サザンカの垣根やシイ類など常緑の庭木でひっそりと耐える。秋には美しかった羽が、春にはボロボロになっている。待つ春は、必ずしも来ない。どれほどの命が消えるのだろう。それでも春を、待っていたい。

ホソミオツネントンボ

ムラサキシジミ　ウラギンシジミ

岩崎哲也
専門研究員
（みどり担当）

特集 いきものまちづくり

練馬区の“みどり”は、いきものを　多摩・武蔵・秩父⇔東京都心　とつなげる大切な一翼を担っています

① ネリマでいきものまちづくりとは

いろいろな環境

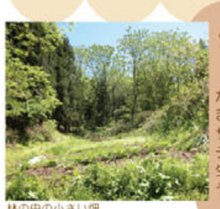
例えば、草むらには草を好むバッタやカマキリが住んでいます。同じように、花には花を、樹木には樹木を、木材には木材を、水には水を好む生き物がやってきますよね。落ち葉や枯れ木も、石や砂も、そう、同じこと。こうして、いろいろな環境と、そして人との接点を考えるのが、いきものまちづくりです。

花　コアオハナムグリ お花に夢中

草むら　オンブバッタ 交尾時間が長い

さまざまな植物

自然ゆたかな場所では、たくさんの植物種が見られますね。植物の多様性によって、さまざまな種類の生き物がやってきます。一方、サザンカの生け垣はサザンカばっかりだから、チャドクガなど限られた種類の生き物が大発生することもある。単純なみどり＝不自然という視点から、いきものまちづくりを考えます。



林の中の小さい畑

デコボコだ

ほとんどの生き物は、穴があれば入りたい。すき間があればちょっと隠れてみたい。多分、あなたと同じ。小さなデコボコは微生物が、大きなデコボコは大きな生き物の隠れ家になります。あなどようにに、ランダムな素材の配置や空間的なデコボコも、魅力的。いきものまちづくりは、デコボコこそ美しい。

空石積み：石の間にいきものが集まる

つながってる、近くにいる

つながっていなければ、移動することができませんね。移動できなければ、餌も限定されるし、彼や彼女との出会いのチャンスもないし、やがて血縁も濃くなって絶滅するのみ。もちろん、私たち人間との接点も減ります。近くにある庭木や街路樹、花壇などでみどりがつながっているのが、いきものまちづくり。

街路樹や屋敷のみどりの連続性

② 人も楽しい！いきものまちづくり　事例紹介

花壇づくりをみんなでやりたい！

“身近なみどり”を地域の人たちとより良くしたい！と花壇づくりに取り組んだ団体、ＮＰＯ法人みどり環境ネットワーク！の村田千尋さんに活動の様子を伺いました。

「東京都の財団があこなっている助成金を使って、ＮＰＯの事務所のとなりにある公園の花壇づくりをしました。ＮＰＯの活動としてメンバーだけで実施してもよかったのですが、参加者を広く集めてあこなうことで、地域の方々と作り上げた喜びを味わうことができました。」

▲近所の花屋さんが先生です！

▲男の子たちからも「たのしい！」との声

■子どもたちの貴重な体験に

「花を植える時は公園前の通学路を歩く小学生や向いのコンビニエンスストアの店員さんなども参加しました。草花は近くの花屋さんから購入して、お店の方に植え方の講師をお願いしたので、特に子どもたちは楽しく学びながら作業できたみたいです。

▲花満開の公園

花を植える前の公園は、ゴミが多く捨てられたりしていました。しかしお花できれいになるとゴミ捨ても減り、赤ちゃん連れのお母さんも安心して利用できるようになったそうです。春には蝶が来る空間になりました。

■地域の協力があればこそ

「夏場などは植えたあとの花を管理するのは、大変でした。水やりなども地域の方々が協力してできるようになると、もっと身近で大切な存在になると思います。」それでも、この公園の花壇がきっかけで声をかけられるなど、地域の方とのつながりがより深まったことを感じているそうです。

団体紹介

ＮＰＯ法人　みどり環境ネットワーク
問合せ：03-5393-5454

地域の“身近なみどり”を守りたい！もっとよくしていきたい！という思いが集まり、活動を始めて早５年。練馬区を中心に活動しています。活動内容は自然観察会、剪定講習会、剪定校葉などを用いた工作教室など様々なプログラムを用意してみなさまの参加をお待ちしております。一緒に活動してくれるスタッフも大募集！専門知識はなくても大丈夫ですよ。

村田千尋さん：区内公園、小学校等で樹木解説も行う

スタートします！　まちづくり活動助成事業　テーマ部門（いきものまちづくり）

身近な場所で生き物を呼ぶ空間をみんなで
楽しみながら創りだす活動に対して
学習プログラムと活動助成金で支援します

まちでは、街路樹や公園樹、庭木など、
虫がつきにくい植物が主役で、
公共・民間を問わず全国的に
こうした植物がつくられ、売買されています。
そこで“練馬らしいみどり”を考えるとき
あるいは子どもたちと“いのち”との
接点を考えるとき、
古くからそこにある植物や土、
ともに生活している鳥や昆虫、
土の中の微生物など、すべてを含めて“みどり”
としてとらえ、いきものを呼ぶみどりを
つくる助成事業「テーマ部門」を行います。

募集中

①まず学習会へご参加ください　学習会だけの参加も OK

②さまざまなまちづくり活動へ　テーマ部門への申請も OK

学習会（いきものとまちづくりの教室）

生き物を呼ぶ空間づくりやまちづくり活動についての学習会を開催します。助成申請には、学習会への参加が必要です。

■スケジュール　平成２０年 ６月～１０月
月１回・平日夜間に講義や見学会を行います。（見学会は土日昼間を予定）

■参加申込み
参加ご希望の方→後日詳しい案内を送付します！
メール・ファクスまたはハガキで下記まで

＜記入事項＞①いきものまちづくり②住所③氏名
＜締切り＞　５月１５日（木）
＜送り先＞練馬まちづくりセンター
メールアドレス：kouza-entry@nerimachi.jp
FAX：3993-8070
〒176-8501　練馬区豊玉北 6-12-1　東庁舎６階

「テーマ部門」助成内容

助成もあります

1年目　企画準備活動　助成金額（１団体あたり）**１０万円以内**
活動期間：平成 20 年 11月～翌年3月
たとえば・・・
・整備内容の企画
・整備場所を探す活動など

2年目　整備活動　助成金額（１団体あたり）**５０万円以内（予定）**
活動期間：平成 21 年 4月から１年間
たとえば・・・
・現地の整備
・地域への呼びかけや広報活動　など

■審査
・公開の場での審査を行い、助成を決定します
・2年目に進む時も活動内容について審査を行います

行ってみたい!! 素敵な風景 6

「練馬区の素敵な風景 100 選」の中から、これから見られる風景をご紹介します！

練馬東小学校のフジ棚　春日町1-30
毎年5月の連休の頃が見頃です。花の期間中はライトアップもされてきれいです。

四季の香公園のバラ　光が丘5
新緑の中、朝日を浴びている色とりどりのバラが美しいです。

撮影者：（敬称略）　池田義栄　上野由起子

問合せ
練馬区商工観光課　観光係
☎3993-1111(代)

INFORMATION

江古田駅改築および駅周辺整備について

問合せ：
練馬区東部地域まちづくり課
☎3993-1111(代)

練馬区と西武鉄道では、老朽化した西武池袋線江古田駅の改築と駅周辺整備に取り組んでいます。今回の改築により、改札口を橋上化して南北自由通路を整備し、エレベーターやエスカレーター等を設置します。また、駅の改築にあわせ、駅周辺の道路整備や広場等の整備を行います。駅舎と南北自由通路は平成 22 年度、駅周辺の道路や広場等については平成 23 年度の完成を予定しています。

南口イメージ

センターからのお知らせ

練馬まちづくりセンターって！？
区民のみなさんの主体的なまちづくり活動を応援します。お住まいの地域の環境を良くしたい、興味や専門性を生かしてまちづくり活動をしてみたいとお考えの方はぜひセンターにお問合せください！

練馬まちづくりセンター　TEL 3993-5451　FAX 3993-8070
ホームページ　http://nerimachi.jp/
講座申込み用メールアドレス　kouza-entry@nerimachi.jp
〒176-8501　練馬区豊玉北6-12-1　東庁舎6階

まちづくり活動助成募集　平成20年度

助成団体募集

はばたき部門
身近な生活空間の保全・改善・創造のための活動に助成をします。

助成限度額●　1団体につき**30万円**
①事前相談（必須）4月7日（月）～4月18日（金）
②申請受付期間　4月21日（月）～4月25日（金）
審査　公開による活動企画コンテスト

たまご部門
これからまちづくり活動を行うにあたり、はばたき部門に応募するための事前の学習会に対しての助成

助成金額●　1団体につき**3万円以内**
審査　書類審査
申請は年間を通じて行います（年間10団体を予定）
※応募要項・申請書はまちづくりセンターで配布中（ホームページからも入手できます。）

参加者募集

「まちづくり」を始めませんか？
4月5日（土）練馬区役所（本庁舎地下多目的会議室）にて
まちづくり講演会
①「こじゃんと元気な高知のまちづくり」
みなさんも、高知市で元気に行われているまちづくりから活動のイメージやヒントをもらって、元気なまちづくりを実践してみませんか。
講師　**島中洋行氏**（高知市市民活動サポートセンター長）
②平成20年度助成事業説明会
◎午後2時～3時40分
◎午後3時40分～4時30分

「子どもがつくるまち」

参加者募集

まちづくり講座①
『ミニさくら』ってどんなまち？

「子どもが責任ある市民としてまちを創っていく取り組み」です
●千葉県佐倉（さくら）市
商店街や公園を舞台にして行われています
子どもたちが市民となり職安で仕事探し
4日間でのべ2千人ほど参加します
▼
銀行でお給料
▼
食事、買い物、結婚も
▼
さらに市議会、市長選挙開催！
この取組みについてお話いただきます

日時●4月19日（土）　午後2時～4時
場所●動労福祉会館　一階集会室（東大泉5・40・36）
定員●100名（申込順）
講師●中村桃子（ミニさくら発起人）
20年以上の歴史を持つドイツの子どものまち・ミニミュンヘンに参加され、佐倉でもやりたいと2002年に始められました
申込●Eメールまたは電話で①講座名②氏名・ふりがな③Eメールで申込の場合返信可能なメールアドレスを練馬まちづくりセンターへ
※保育室（1歳～未就学児対象）を利用したい方は、4月10日（木）までに電話でお問合せください。

練馬まちづくりのWAメッセ2008

参加団体募集!!

まちづくり交流会

5月17日（土）・18日（日）に勤労福祉会館（東大泉5・40・36）で開催するまちづくり交流会「練馬まちづくりのWAメッセ2008」の参加団体を募集します。交流会では、パネル展示などによる活動内容の紹介や、団体間の交流を行います。

対象●**区内のまちづくり活動団体**
募集数●**30団体程度**（申込順）

申込書はホームページからダウンロード可能です！

ワイヤレスアンプマイクの貸出を始めます

センターの貸出備品

まちづくりセンターでは、まちづくり活動団体に対し、打合せスペースの提供やプロジェクター等備品の貸出をしています。4月からは、ワイヤレスアンプ・マイクセットの貸出（有料・一回500円）を開始します。センター窓口で団体登録のうえ、ご利用ください。

17日（土）は活動助成団体の最終報告会もあります